



アドビ システムズ 株式会社
141-0032 品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー 19F

アドビ、2016 年第 4 四半期および通年の決算を発表

対前年度比22%増の年間収益を達成し、過去最高の収益、純利益を記録

※米国本社発表の業績プレスリリースは[こちら](#)をご覧ください

【2016 年 12 月 16 日】

米国カリフォルニア州サンノゼ発（2016 年 12 月 15 日）：Adobe（Nasdaq：ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ）は本日、2016 年度第 4 四半期（2016 年 9 月 3 日から 2016 年 12 月 2 日）および通年（2015 年 11 月 28 日から 2016 年 12 月 2 日）の決算を発表しました。

第 4 四半期の収益は過去最高となる 16 億 1,000 万ドル、前年同期比 23%増となりました。通年の収益も過去最高となる 58 億 5,000 万ドル、前年比 22%増でした。さらに第 4 四半期には、純利益、キャッシュフロー、繰延収益も過去最高を記録しました。

アドビの社長兼 CEO（最高経営責任者）であるシャントヌ ナラヤン（Shantanu Narayen）は、次のように述べています。「アドビの市場をリードするデジタルメディアおよびデジタルマーケティングソリューションは、顧客企業が優れたデジタルエクスペリエンスをデザインし、実現する方法に変革をもたらしています。当社は、著しく高まる市場の勢いとテクノロジー革新による追い風を受けながら 2017 年を迎えます。」

アドビのエグゼクティブバイスプレジデント兼 CFO（最高財務責任者）であるマーク ガレット（Mark Garrett）は、次のように述べています。「アドビの全事業において、2016 年は堅調な年となり、重要な財務指標にすべて到達することができました。当社は、クラウドプロバイダーとして収益、利益の両面で成長を続けていく態勢を整えています。」

第 4 四半期の業績ハイライト

- 収益は過去最高となる 16 億 1,000 万ドル、前年同期比 23%増。
- GAAP ベース希薄化後 1 株当たり利益（EPS）は、0.80 ドル。Non-GAAP ベース希薄化後 1 株当たり利益（EPS）は、0.90 ドル。
- デジタルメディア分野の収益は 10 億 8,000 万ドル、クリエイティブ分野の収益は 8 億 8,600 万ドルで前年同期比 33%増。
- Creative Cloud と Document Cloud の好調な普及によってデジタルメディア分野の年間の経常収益（Annualized Recurring Revenue - ARR）は 40 億 1,000 万ドルに拡大し、前期より 3 億 1,600 万ドルの増加。
- Adobe Marketing Cloud の収益は過去最高の 4 億 6,500 万ドル、前年同期比 32%増。
- GAAP ベースでは営業利益が前年同期比 63%増、純利益が 79%増。Non-GAAP ベース

では営業利益が前年同期比 44%増、純利益が 45%増。

- 営業キャッシュフローは 6 億 9,600 万ドル。
- 当四半期中に約 320 万株を買い戻し、約 3 億 3,100 万ドルの現金を株主に還元。

2016 年度の業績ハイライト

- 2016 年度通年の収益も過去最高となる 58 億 5,000 万ドルに達し、前年比 22%増。
- 通年の GAAP ベース希薄化後 1 株当たり利益 (EPS) は、2.32 ドル。Non-GAAP ベース希薄化後 1 株当たり利益 (EPS) は、3.01 ドル。
- デジタルメディア分野の ARR は通年で 40 億 1,000 万ドルに拡大し、前年比 11 億 3,000 万ドルの増加。
- Adobe Marketing Cloud の収益は通年で 16 億 3,000 万ドルを達成、前年比 20%増。
- 営業キャッシュフローは 22 億ドル。
- 繰延収益も過去最高の 20 億 1,000 万ドルに達し、未請求受注残高 (unbilled backlog) は約 34 億 2,000 万ドル。
- 当年度中に合計 1,040 万株を買い戻し、約 10 億 1,000 万ドルの現金を株主に還元。

将来的観測の開示について

本プレスリリースは、実際の業績を大幅に異ならせる可能性のあるリスクと不確実性を内包した、製品および技術開発、事業の勢い、顧客にとっての当社製品とサービスの影響、収益、年間の経常収益、受注件数、1 株当たりの利益および営業キャッシュフローに関連する将来的観測を含みます。実際の業績を異ならせ得る原因としては、以下が挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- 顧客の要求に応える製品およびサービスの開発、市場投入、流通の失敗
- 競合他社による新製品およびビジネスモデルの市場投入
- 新たなビジネスモデルや新たな市場への移行の失敗
- 経済状況および金融市場の不確実性
- サブスクリプションサービスの更新比率の変動
- 一部エンタープライズ向け製品の複雑かつ予測困難な販売サイクル
- サイバー攻撃と情報セキュリティに関連するリスク
- アドビもしくは第三者によって提供されるホステッドサービスに障害または遅延が生じる可能性
- 会計原則の変更
- 過去および将来の買収において見込まれた利益達成の失敗

これらおよびその他のリスクと不確実性についての解説に関しては、2015 年 11 月 27 日を末日とする 2015 事業年度のアドビの年次報告書 (Form 10-K) および 2016 年度に発行されたアドビの四半期報告書 (Form 10-Q) をご参照ください。

プレスリリースに記載された財務情報は現時点で得られる情報に基づく推定を反映したものです。これらの金額は、アドビが 2016 会計年度 (2015 年 11 月 28 日から 2016 年 12 月 2 日) について 2017 年 1 月に提出予定の四半期報告書 (Form 10-K) に記載される実際の業績数値とは異なる場合があります。

アドビはこれら将来的観測を更新する義務を負うものではありません。

アドビ システムズ社について

アドビは、世界を動かすデジタル体験を提供します。

アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、[web サイト](#)に掲載されています。

Adobe and the Adobe logo, Adobe Document Cloud, Adobe Marketing Cloud and Creative Cloud are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.

© 2016 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. All other trademarks are the property of their respective owners.